

link! マナビを通して見えた町  
～見えた課題、離れた町、私たちにできること～



# link!

## マナビを通して見えた町

～見えた課題、離れた町 私たちにできること～



迫 朝陽(さこ あさひ)  
学校法人時任学園 樟南高等学校 2年

前畑 仁美(まえはた ひとみ)  
学校法人津曲学園 鹿児島高等学校 2年

## 活動概要

### 活動の内容

主に地域を繋ぐ複合型イベントの共催と、中学生のニーズに合わせた合同高校説明会を行った。

町内4校区の人々が集う、複合型のイベントでは、事前の準備段階からイベント終了後まで、を協力し、地域を盛り上げた。

合同高校説明会では、喜入中学校の生徒の志望率の高かった高等学校計19校に参加していただき、高校生から直接リアルな声を聞いたり、質問のできる高校説明会を開催した。

### 活動の特徴(新規性・発展性)

「楽しみながら学べる」イベントから「知る・繋がる」イベントの視点も追加した。

複合型イベントでは、参加者も主催者側も喜入を知り、喜入と繋がることができるような催しを行った。

また、合同説明会では、喜入に住む高校生から「生の声を聞こう」をコンセプトに、高校生ボランティアを募集して、進路選択を考える中学生やその家族に説明してもらった。

### 活動の成果

イベントを通じて、自分たちの力が必要とされていることがよく分かった。

特にイベント等での広報活動において、SNS等の扱いに慣れていない若者世代は、地域から重宝されることが分かった。

合同高校説明会では、93.6%の人が役に立ったと回答。82.4%の人が来年度以降もやって欲しいと答えており、私たちの活動が評価され、今後も期待されていることがわかった。

## 課題の設定と意図

喜入マナビプロジェクト つわぶきにて活動を進めるにつれ見えてきた課題をもとに、初期から続けている自習室運営の傍ら、イベントを企画し、実施した。

近年、若者の地元離れが加速。喜入町内6校区(瀬々串、中名、喜入、一倉、前之浜、生見)から喜入中に通う中学生約100人にアンケートをとった結果93.3%の人が「喜入を離れたい」「一度は喜入を離れる」と回答した。

喜入には、この6校区それぞれが、盛んにイベントを開催している。しかし、地域間で連携が少ない。さらに、少子高齢化が進んでおり、一倉、前之浜、生見校区にて2人に1人が高齢者となっている。そして、近年各校区のお祭り等の規模縮小、中止が増えており、原因の一つに高齢化による人手不足があげられる。若者世代の担い手が不足しているのも原因だ。実際に高齢化が他の地域よりも加速している生見校区では若者・人手不足により、来年の海辺のマルシェは開催を検討中とのことだった。校区間でお互いに助け合うことができれば人手不足が解消されるのではないかと考えた。

そこで、私たちが喜入地域内の交流を深める架け橋となり、イベントで賑わいを取り戻すことを目指して実践活動を行おうと決意した。

## 課題解決のための仮説と計画

地域住民にとって住み続けたいと感じる町づくりが、地元を離れた人が帰りたくなるまちづくりに繋がると思い、ふたつの仮説を立てた。

### 1つ目は、校区を巻き込んだ複合型イベントの実施

6校区ある喜入では、電車を利用して、一番端の瀬々串から生見まで、20分かかかる。また、地域が一つになって、イベントを開催するという機会が少ない。各校区で協力することで地域の新たな魅力を「知り」高齢化の進む地域のイベントサポートなどにも「繋がる」よって、まずは校区同士の垣根をなくすアクションが大事だと感じた。

そこで、各校区の“まちづくり協議会”等を巻き込んだ複合型イベントの開催を計画した。

### 2つ目は、中高生のニーズに応える。中高生を巻き込んだイベントの実施

中高生に参加者やボランティアとしてイベントに参加してもらうことで、地元への関心を深められるのではないかと考えた。また、校区外の中高生でも参加可能にすることで、他校区の中高生同士の交流ができ、お互いの風通しがよくなることを願うと同時に、喜入外に住む中高生に喜入の魅力について「知ってほしい」とも思った。

そこで、喜入中学校の生徒の悩みやニーズに応えたイベント実施や、複合型イベントのボランティア募集を中高生に呼びかけた。

## 活動で工夫できたこと

### ①SNS

投稿を分析し、写真を中心とした投稿の方が閲覧されやすいことに気づいた。投稿に変えてから閲覧者数が約140人も増え、また、投稿を閲覧してフォロー数においても、投稿内容を変えたことで1投稿だけで8名フォローが増えた投稿もあった。

### ②告知方法のバリエーションを増やす

店頭でポスターの掲示依頼・全校区の小学校にポスターを配布するなど告知の幅を広げた。また、特例で防災無線での告知を許可していただき、喜入地域全体に防災無線を使用した告知を行うことができた。

### ③キレンダーの使用

つわぶき祭にて、喜入の魅力を町内外の方々に知っていただくために、キレンダーというご当地キャラを活用した。当日は、子どもから大人の方まで親しみを持っていただけるよう、写真撮影にも快く応じた。地元の方からは「久しぶりに見れて嬉しい！」などのお声をいただいた。喜入町以外の方からは、「キャラクターについてもっと教えてください！」などの質問をいただき、キレンダーの説明に付け加え、喜入町のPRも忘れずに紹介した。

### ④来場者のデータ収集

より効果的な告知を行うため、入り口付近に「どこからきましたか?」と書いた紙とシールを設置した。喜入校区で開催された「喜入わいわいまつり」というイベントでは、喜入地域の中心に位置する喜入校区からの参加者が多かった。それに対して「海辺のマルシェ」では、喜入地域の南端に位置する生見校区や指宿市からの参加者の方が全体的に多いことが判明した。これらの結果から、同じ喜入地域内とはいえ会場によって参加者に偏りが出ていることが分かる。地理的な面も考慮すると妥当な結果と捉えることもできるが、喜入地域内全体を盛り上げたいという面では少々納得のいかないものでもある。このデータを来年度以降にも活かし、広報活動を行っていききたい。



迫 朝陽

自分たちの単独での力量だけではなし得なかった実践活動だった。支えてくださったすべての方に感謝の気持ちで胸がいっぱいになった。今回の活動を通してどの地域の方も自分の住む町、「喜入」に対して愛着を持っていることに気づいた。自分が住んでいる校区外の大人たちもとても協力的で、会話をする中で他校区とつながるきっかけを求めていることがわかった。イベントで生見校区の方々と一緒にした際に、このイベントを通して生見のことがもっと好きになりました。と伝えると、嬉しそうに笑いかけられ、地元民しか知らない見所や、名所を教えてくださいました。このような出来事から、各校区の人はそれぞれの土地に愛着を持ち、大切にしていることがわかった。そしてそれが、喜入町全体の意識にも繋がっていることが理解できた。この喜入の温かさをより多くの人に知ってもらいたいと感じた。

また、イベントでのポスター作成や、練習して作れるようになったパルーンアートを行った際、来場者や地域の方に褒められたり、感謝の気持ちを伝えられたことで、益々自信につながった。

活動を通してより地域の良さに気づくことができるため、今後もこの活動を続けていきたいと感じた一方で、難しさを感じたのはリーダーとしての自分の立ち回りだった。大規模な複合イベントを行なった際、「自分が作りたいイベント」を他者と協力して作り上げていくことの大変さに気づいた。多くの方から周囲を見渡せていないと指摘を受け、リーダーとは何か、責任とは何か、を思い悩む場面が多かった。最前線に立って企画をしたいという気持ちがある一方で、今後のことを考えると人材育成や、引き継ぎ等も行わないといけないという立場でもあるギャップに苦しむことが多く、自分の視野の狭さや、経験量不足を実感した実践活動となった。

どのような声掛けを行うことで、メンバーのやる気を引き出せるのか、どこまでを任せてどこから自分が手を入れるべきか、慎重に見極め、どのような立ち回りで動いていくかが自分の課題だと感じた。

今後の展望として、つわぶきは中高生中心で企画、運営を行っている。そのため、高校卒業後は裏方もしくは卒業という形になる。しかし、私はまだ探究活動を行いたいと考えているため、つわぶきとは別な新たな実践活動も視野に入れている。また、私自身高校卒業後進学するにあたって、喜入を出て、県外に行く可能性がある。しかし、喜入への思いは変わらない。そこで、離れていても喜入を盛り上げる、サポートできる仕組みや場所等を作りたいと考えている。実践活動を通して、喜入で行われるイベント情報がまとまっておらず、不便さを感じた。そこで、喜入のイベント情報を一括で発信できるInstagramアカウントの運用や、ホームページなど、離れていても喜入と関わる、喜入に触れることのできる仕組みづくりを行いたい。高校生にはハードルの高い課題かもしれないが、遠くにいっても私にできることがないか模索し続けていきたい。

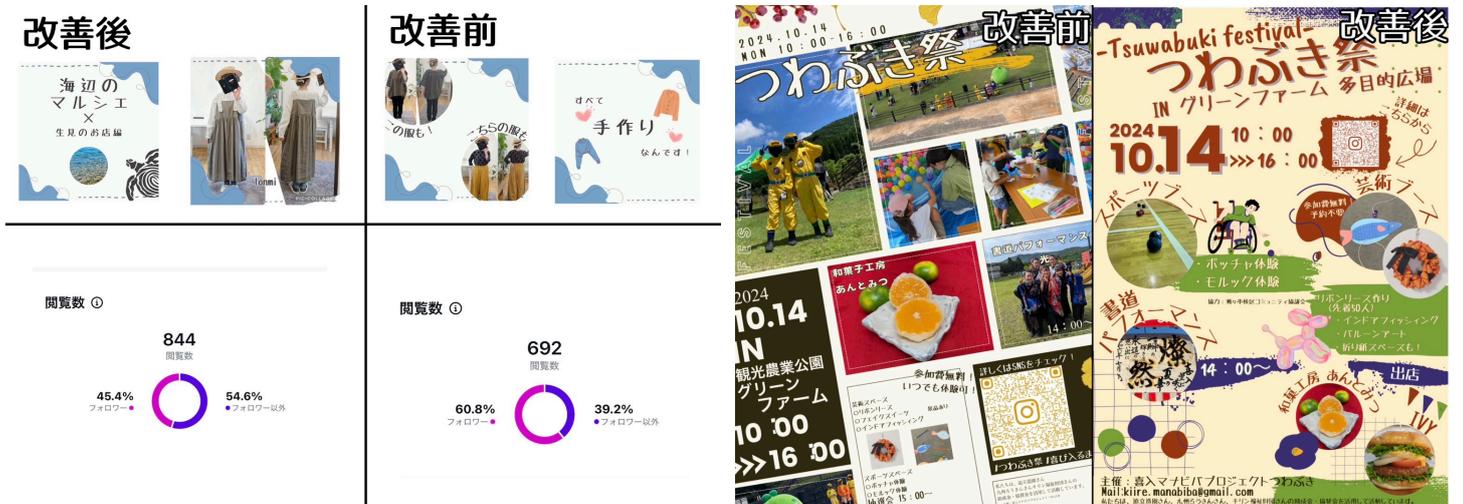
前畑 仁美

OR合宿と実践活動を2年続けて経験した。

高校生になるまでは、「指示に従って行動する」ということが多かったが、活動していくにつれて「探求のサイクルを常に意識して行動する」ことができるようになっていった。昨年は1年目として、与えられた役割をこなしていくことが多かったが、今年は2年目として組織全体を動かしていく立場となり、前に立つことも増えた。もともと、誰かに協力を仰いだり、頼み事をすることが苦手だったため、みんなに指示を出さなければいけない場面では、難しさを感じた。ある活動では、誰かに活動内容が偏ることを防ぐために、事前に役割分担をして活動していったが、うまく事が進まなかった部分もあった。この原因は、私たちが与えられた「指示に従って行動する」ことをさせてしまっていたからだ私は気づいた。この反省を生かし、みんなにも探究サイクルのように見通しをもって自分で考えながら動いてもらうように促したところ、逆に積極性が出てきて安心して任せることができた。自分のやるべきこと、やりたいことをするためには、正直、「すべて自分1人でやった方が楽だ」と思ったことは何度もあるが、組織として活動する以上、1人でできることであっても、仲間間の力を信じてみんなでつくりあげることの方が、今後の組織活動においても良いことが実践活動をおとして実感した。

実践活動をおとして気づいたことがもう一つある。それは、私自身に高まった探究活動への興味・関心だ。OR合宿や実践活動を経ていくたびに、自然と私の気持ちが高揚していることに気づいた。課題を設定し、情報を集め、それを整理・分析して表現する。いわゆる、探究サイクルをこなしていく過程がとても楽しく、やりがいを感じる時間になっていた。「こんな町になったらいいな」などと生まれ育った地元が良い方向に進んでいくようになることが、この上ない喜びになっている。実践活動を行なっていく中で、すべてがうまく運べるわけではなく、つまづく場面もあるが、それでも地域のためとなるような実践活動を続けたいと思ってしまうのは、地元である喜入が好きだからだと思う。これからこの町があり続けてほしいからこそ、自分のやれることをやりきりたいと思う。

これまでの学びの成果は、今後、周囲の仲間や環境が変わっても、探究の実践経験をもとに新たな場面で生かされるように頑張っていきたい。



実践活動時の動画や成果物等

動画URL	二次元コード	添付PDFあり
-------	--------	---------

## 1. 地域探究アワードエントリー情報

エントリー希望	有	エントリー単位	グループ	ブロック	九州・沖縄
---------	---	---------	------	------	-------

## 2. オリエンテーション合宿及び実践活動の基本情報

合宿実施先	国立大隅青少年自然の家	修了日	2024/7/15	カリキュラムのタイプ	B
フィールドワークの内容					
実践活動期間	2024/7/15 ~ 2024/11/28				
活動のタイプ	発展的な活動				
これまでの活動について	喜入で中高生の学びのサポートをメインに活動している喜入マナビプロジェクトつわぶきという団体に所属し、常設自習室開設を目標に活動を続けている。活動を続けていくうちに喜入の課題が見え、イベントの企画、実施も自分たちの学びに繋がることがわかった。定期自習室の開設の傍らで、不定期のイベントの実施を行ってきた。団体は今年で設立4年目を迎えアンケートを定期的に行い自習室、イベントの見直し改善を行っている。				
協力者	主な協力者			協力内容	
	所属	観光農業公園グリーンファーム		イベント開催協力、助言	
	氏名	橋口 亮			
	所属	瀬々串校区コミュニティ協議会		イベントの共催	
	氏名	井之上 博美			
	所属	生見まちづくり協議会		イベントの共催	
氏名	古殿 和博				
協力者総数	67名		協力団体数	25団体	

## 3. 実践活動の記録

(1)総活動日数 全 67 日

事前:準備・打合せ	56日	本番:メインの活動	5日	事後:ふりかえり・報告	6日
-----------	-----	-----------	----	-------------	----

(2)活動成果の発信等

媒体	方法	回数	概要・備考
その他	自ら発信	3回以上	実践活動の告知のため、喜入地域の小中学校を中心にポスターを配布できた。
新聞	取材された	1回	読売新聞に掲載され、全国紙デビューを果たした。
SNS	自ら発信	3回以上	昨年度の投稿に比べ、今年度の投稿の閲覧者数は二倍に増加した。

(3)主な活動記録

活動日時	区分	活動場所	活動内容
8/11 ~ 8/11	②実践活動本番	喜入公民館(喜入支所)	中学生を対象とした、県内19校合同高校説明会を喜入で開催。34人が参加した。
8/16 ~ 10/13	①事前学習・打合せ等	観光農業公園グリーンファーム	メンバー内で役割を分担し、誰かに仕事が集中しないよう配慮した。4校区が関わった。
11/6 ~ 11/27	③事後打合せ・報告会等	生見海水浴場	522人が訪れアンケートの結果より、喜入町からの参加者が少ないことがわかった。
8/1 ~ 8/3	①事前学習・打合せ等	喜入旧麓交流館 陽だまり	イベントポスター作成。

# イベント企画書

教えて!センパイ!

通ってるからこそ分かる高校紹介



2024年 6月15日

## [目次]

01	イベントの概要	1
02	イベントの詳細	2
03	当日の流れ	3
04	会場と設備	4
05	安全対策とボランティア	5
06	広報とイベントの魅力	6
07	イベント経費	7
08	ボランティアの申し込み方法	8

# 01 イベントの概要

今回のイベントは、主に中学生の進路選択に役立ててほしいという思いや、当時中学生だったメンバーの悩みから生まれたものです。また、私たちの団体の特徴である「通っている高校がバラバラ」を生かしたイベントです。

## イベントの目的

- 喜入は鹿児島市と指宿市の境目に位置  
→高校までの距離が遠く、電車を使わないと高校に行けない
- 高校説明会にも距離の問題から行きにくい
- 各高校の説明会だけでは集めきれない情報  
→喜入に住む高校生が直接対話式で説明  
→通学や、行事など学校内部のことを深く知る

## イベントの特徴

- 各ブースで参加者と在校生の直接対話式の説明
- パンフレットの配布を通じた学校紹介
- 在校生による在校生ならではの声を聞くことができる
- 喜入での開催による移動時間の短縮

## 参加対象

- 主に喜入中学校の生徒対象
- その他参加希望を持つ生徒、小学生、保護者

## 02 イベントの詳細

イベントの詳細とスケジュールについては以下の通りです。

 **開催日** 2024年 8月11日(日) 午前の部：10時～12時  
午後の部：13時～15時

 **場所** 喜入公民館ホール(喜入支所)

 **テーマ** 高校生と中学生の距離に近い  
直接対話式の高校説明会

 **参加校** 【国立】鹿児島工業高等専門学校  
【公立】指宿高等学校、指宿商業高等学校、開陽高等学校、  
鹿児島中央高等学校、鹿児島南高等学校、錦江湾高等学校、甲南高等学校、  
薩南工業高等学校、松陽高等学校、鶴丸高等学校、鹿児島女子高等学校、  
【私立】鹿児島高等学校、鹿児島実業高等学校、鹿児島城西高等学校、  
鹿児島情報高等学校、志學館高等部、樟南高等学校、N高等学校・S高等学校  
(50音順)

### 当日のスケジュール

8：30～ 会場設営、準備等

10:00～12:00 午前の部

12:00～13:00 昼休憩

13:00～15:00 午後の部

15:00～ 会場撤去

## 03 当日の流れ

1

### 受付

係が今回のイベントについて軽く紹介をします。先着順で10名に図書カードを用意しているので最初の方にはそれをお渡しします。

2

### 気になる高校のブースへ

気になる高校を見つけたらブースに椅子を用意していますので、腰かけて高校の説明を聞きましょう。質問なども可能です。1人での参加、複数人での参加も可能です。

3

### 直接対話式の説明会

1組あたり10分～15分とし、丁寧に説明していきます。最長15分で次の方と交代となりますが、並び直していただければ何度でも聞くことができます。2024年開催時は人が少なかったため、自分の聞きたい時間そのブースにいることが出来ました。

4

### パンフレットの配布

各ブースで説明方法は異なりますが、パンフレット等を配布、各高校についてまとめたチラシなどもご自由にお取りください。

## 04 会場と設備

会場と設備の説明です。



施設を利用した当団体のイベントの様子

**会場名** 喜入公民館ホール(喜入支所)

**住所** 〒891-0203 鹿児島市喜入町7000

**電話番号** 099-345-3751

**FAX** 099-345-1817

**トイレ** 公民館内にトイレあり

**駐車場** 無料駐車場あり

**URL** <https://www.city.kagoshima.lg.jp/kyoiku/kyoiku/syogaigaku/shisetsu/shogai/019.html>

## 05 安全対策とボランティア

安全対策とボランティアについては以下の通りです。

### 安全対策とイベント保険について

#### 安全対策

---

当日は会場内に大人サポーターがおります。  
ネームプレートを首にかけておりますので、ご気軽にお声がけ  
ください。

#### イベントの保険について

---

イベントを開催する上で保険に入っています。  
参加者やボランティア、運営が安心してイベントを楽しむことが  
できる環境を整えています。

### ボランティアについて

#### 個人情報について

---

アンケートや、受付時に記載していただいた個人情報や、ボラン  
ティア募集の時に利用した個人情報は、当団体のイベント企画の  
みに利用します。

#### 当日の動きと交通費について

---

当日は主に高校説明のボランティアをしていただく予定です。ま  
た、ボランティアの方には、停車駅・停留所に応じて交通費を支  
給します。区間定期券の適用がありましたらお申し出ください。

## 06 広報とイベントの魅力

広告・宣伝と工夫点は以下の通りです。



### SNSでの告知

- ・LINE、インスタグラムを中心としたSNSでの紹介
- ・インスタグラムでは参加校を一日一投稿などで、より詳しい情報を記載
- ・LINEやインスタグラムのDMで質問等を受付



### チラシ配布

- ・チラシには、イベント開催日時、開催場所、参加校一覧、問い合わせ先、およびイベントの簡単な概要を記載
- ・SNSを利用していない中学生にもイベントを知ってもらえる



### 喜入に住む高校生

- ・喜入地域に住む高校生を中心に協力呼びかけ
- ・中学生の頃関わりのあった先輩方から説明を受けられる

※通っている高校生が喜入地域内にいない場合高校側に依頼しています。



### 喜入外からの参加も可能

- ・他の中学校に通う中学生でも参加可能
- 駅から歩いてこれる距離
- ・駐輪場、駐車場あり
- ・出入り自由

これらのアプローチを組み合わせ、高校紹介イベントの広報を効果的に実施します。

## 07 イベントの経費

イベントの経費概要は次の通りです。

### イベントの経費概要

場所代	0
広告代	10,000
交通費	30,000
雑費	5,000
商品	10,000
備品代	2,000
合計	65,000

※ 交通費は1人あたり1,000円で計算しています。  
交通費は喜入地区外からお越しの方にお渡しします。

## 08 ボランティアの申し込み方法

ボランティアの申し込み方法は以下の通りです。

### 参加申し込み方法

ボランティアの参加申し込みはGoogleフォームを通して行います。各高校にボランティア募集のポスターを配布し、ポスターに記載されているQRコードから申し込んでいただきます。また、インスタグラム等のSNSでも募集を行い、同じく、QRコードやリンクから申し込みをしていただきます。

申し込み完了後、申し込み完了のメールを送りますので、そこから確認していただきます。

## 09 スケジュール

イベント開催までのスケジュールは以下の通りです。

スケジュール	アクティビティ
4/7~4/20	喜入中学校へ志望校についてのアンケート依頼、実施
4/30	集計、企画書作成
5/1~	各高校への公文、依頼送信
5/1以降 返事あり次第	各高校への説明、ボランティアメンバー募集
6/30	ボランティア募集締切、ポスター配布
7/1	喜入マナビプロジェクトつわぶき SNSにて告知開始
8月上旬	イベント当日
イベント終了後	振り返り

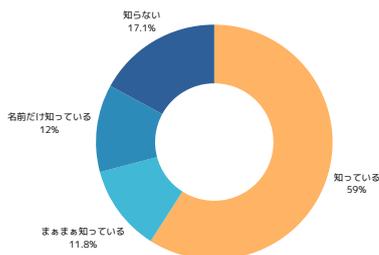
### スケジュール詳細

	4月	5月	6月	7月	8月
アンケート作成、依頼	■				
各高校への依頼、説明		■			
ボランティア募集		■	■		
ポスター配布 SNSでの告知				■	
最終準備とイベント当日					●

喜入マナビバプロジェクト つわぶき  
▼Kiire.manabiba@gmail.com

# 高校紹介アンケート集計結果

Q 喜入マナビプロジェクト  
つわぶきを知っていますか？

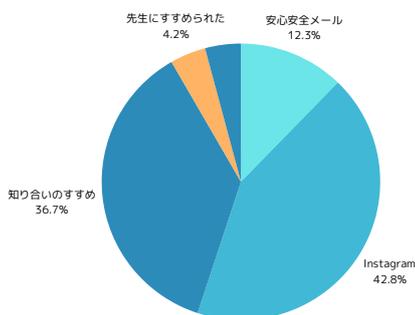


Q 通っている中学校はどこですか？



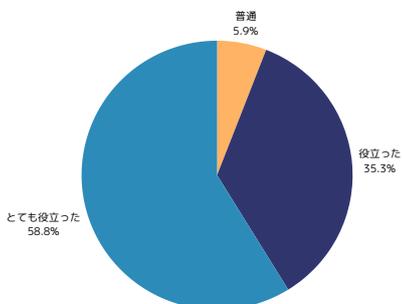
喜入中学校 100%

Q 何でイベントを知りましたか？



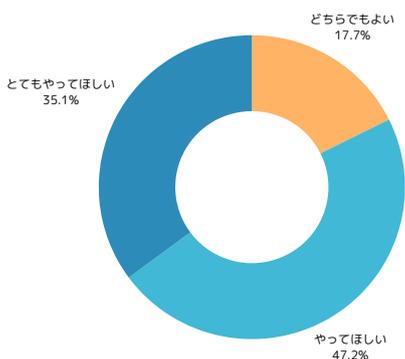
安心安全メール : 11.8%  
Instagram : 41.2%  
知り合いの誘い : 35.3%  
先生のすすめ : 5.9%  
その他 : 5.9%

Q 今回の高校紹介は進路選択に役立つと感じましたか？



役立つでない : 0  
あまり役立つでない : 0  
普通 : 5.9%  
役立つ : 35.3%  
とても役立つ : 58.8%

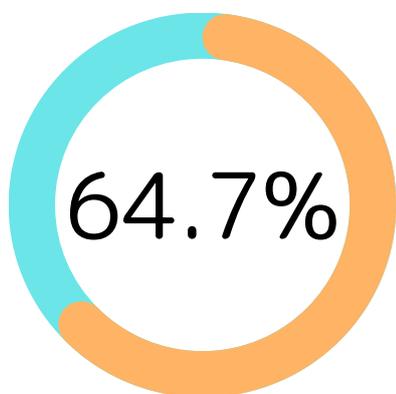
Q 来年も高校紹介のイベントをやって欲しいですか？



5 : とてもやって欲しい 35.3%  
4 : やって欲しい 47.1%  
3 : どちらでも良い 17.7%  
2 : しなくてもよい 0%  
1 : しないほうが良い 0%

# 高校紹介アンケート集計結果

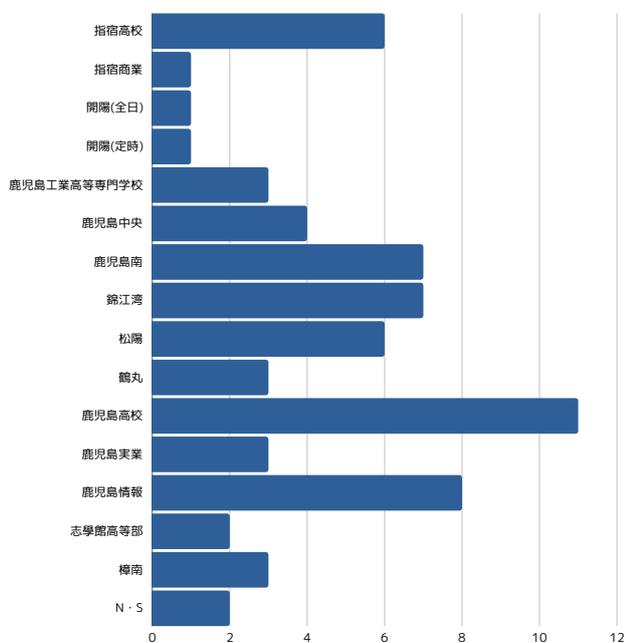
Q進路は決まっていますか？



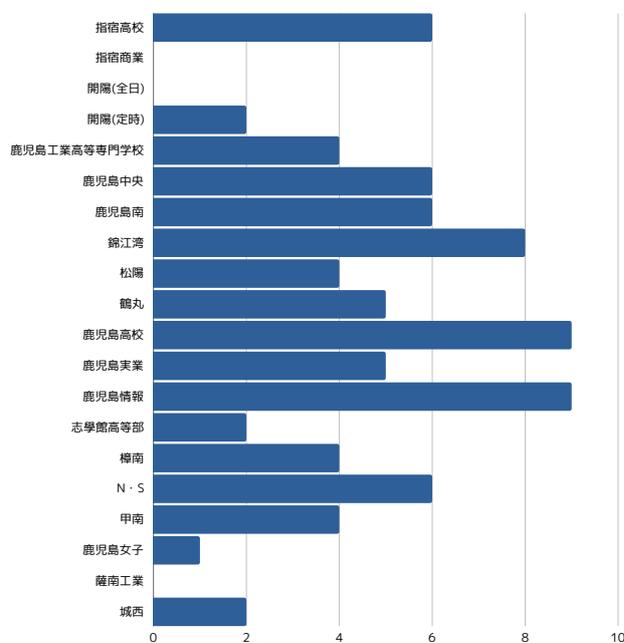
はい 35.3%

いいえ 64.3%

Q説明を聞いた学校はどこですか



Qパンフレットを貰った学校



## 高校紹介アンケート集計結果

この高校の説明が良かった等のご意見をご自由に記入してください

- 説明を聞いた高校全部、良かったです。
- 鹿児島高校 樟南 その他の高校生たちが一生懸命説明されていて  
関心しました。
- 情報は丁寧に教えてくれました NS高はVR交えて面白かったです  
高専も詳しく面白く聞けました ありがとうございます🌟
- 指商の先輩の話がうまかった 自信を持って学校紹介されていて良  
かったです！
- 分かりやすく説明して下さい参考になりました
- 鹿児島高校
- ていねいに説明してくれてわかりやすかったです。
- わかりやすかった
- 中央高校の説明が良かった
- 鹿児島高等学校、樟南高等学校
- 質問しやすかった
- 色々知れました。
- 開陽高校定時制の3人の生徒さん  
とても素晴らしく丁寧に話をしてくださり  
まるで将来像を見れて安心しました！なかなかシビアな内容で  
どこにも相談できなかったので、3人と話ができて良かったです  
た！ありがとうございます！

来年も来て欲しい高校

- ラ・サール(2人) ○松陽
- 鹿児島高校 ○中央(2人)
- 樟南 ○甲南(2人)
- 指宿高校 ○鳳凰
- 武岡台

今後つわぶきにして欲しい企画

- 素晴らしい企画ですね。
- 自習室
- これが定着して幅広い中学校が
- 特にないです
- たくさん来てくれると嬉しいですね。
- いつも、いろんな企画ありがとうございます😊🌟

わたしたちの活動を紹介!

# 喜入マナビバプロジェクト つわぶき



## はじめに

「喜入マナビバプロジェクト つわぶき」は小中高生の学習の場を作るために2021年3月22日に設立された中高生主体の任意団体です!

現在は喜入中学校の定期テスト前に自習室を開設したり、地域との繋がりを活かしてイベントを開催しています。

つわぶきは自分の“得意”“好き”を活かす場所でもあり、イベントの企画・運営やポスター作成などを通して、メンバー1人1人がより成長することができます!!

私たちは、追立造園さん、九州ろうきんさん、キリン福祉財団さんの助成金・協賛金を活用して活動しているため、自習室やイベントはすべて無料で参加できます!



テスト前自習室

喜入中学校の期末テスト前に開設しています  
学習サポーターさんにも来ていただくため、分からない問題や勉強を質問することができます!



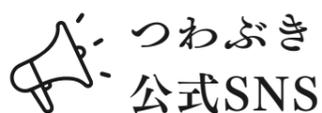
イベント

“数の世界”や“学びの祭典”などの学びながら楽しめるイベントを開催しています!  
また、地域との繋がりも大切にしており、“生見マルシェ”や“陽だまりマルシェ”ではメンバーがイベントの広報を担当しました!!



大会

今までの活動での経験を活かして、地域探求の大会にも出ています!  
大会に出ることによって全国の中高生と関わるため、いい刺激となり、メンバーの成長に繋がります!!



最新のイベント情報などは公式SNSをチェック!



ホームページ



公式LINE



Instagram



Facebook



X(旧Twitter)